

第 18 期 事業報告

(2022 年 11 月 1 日～2023 年 10 月 31 日)

1. 会員加入状況報告

2023 年 12 月 20 日現在の会員加入状況は表 1 の通りである。

表 1 : 会員加盟状況

区分	第 17 期会員数	第 18 期会員数
正会員 (個人)	13	13
正会員 (団体)	5	5
賛助会員(個人)	1	1
賛助会員(団体)	7	7

2. 事業報告 (概要)

1 事業収益の概要

第 18 期の事業収益は、収入 89,070 千円(雑収入 2,142 千円含む)、支出 87,291 千円、収支 1,779 千円となり、いずれの金額も期初の事業計画を下回ったものの、第 17 期に対しては収入増を達成することができ、収支均衡を実現した。

これは、今期事業計画のうち収入については、前期から繰り越した 1 件の入札案件が収入に計上されたことが影響している。なお今期においても、2 件の入札案件を落札しており、当該案件については次期第 19 期に繰越となっている。支出の増については、当初計画以上に最低賃金引き上げなどに伴う人件費が上昇したことなどが影響した。

表 2 : 事業収支 (千円)

区分	第 17 期実績	第 18 期事業計画	第 18 期決算	計画との差異
収入	68,914	89,599	89,070	-529
支出	66,849	88,591	87,291	-1,300
収支	2,065	1,008	1,779	771

基本方針

■ 開発体制の維持強化

- 内製率の向上
新規プロダクトとして音声合成システム, 顔認証システムをリリースする中で, 内製率は目標とする 50%を維持することができた。
- 維持管理事業
既存の事業である, CHiBi-CHiLO の維持管理については, 内部の要因を中心に実施することができた。

■ 事業活動

研究開発：今期は, 競争的資金の獲得はできなかった。

製品開発：新プロダクトとして, オープンバッジを収納する CHiLO-Wallet の製品化を開始した。
当該プロダクトは, 第 19 期に完成しオープンソースソフトウェアとして提供する。

受託業務：受託業務としては, CHiBi-CHiLO を国立情報学研究所, 大阪教育大学, 大阪大学, 熊本大学から受託することができた。

3. 事業報告

1. インターネットを活用した教育機関の教育連携を実現する支援

本事業では, 主として教育機関が運用する e ラーニングシステムの運用保守の受託業務を実施した。主な実績は以下の通りである。

■ 帝塚山大学

事業規模は例年程度を維持することができた。

■ 大阪教育大学

大阪教育大学では, 2023 年 8 月 1 日にバッジウォレット・バッジキャビネット一式の一般競争入札が公示され, 2023 年 9 月 29 日に落札することができた。納期は 2023 年 12 月末となっており, 次期事業に計上される。また, オープンエデュケーション事業に対し, LMS(Moodle) および CHiBi-CHiLO システムを提供し, その運用保守を行った。

■ 愛知教育大学

愛知教育大学では、2023年8月1日に教材コンテンツ作成支援業務の一般競争入札が公示され、8月10日落札することができた。納期は2024年1月末となっており、次期事業に計上される。

■ 国立情報学研究所

- 国立情報学研究所学認 LMS のコンテンツ基盤として、CHiBi-CHiLO を提供した。
- 前期に引き続き、光・量子飛躍フラッグシッププログラムについて、東京大学、九州大学、慶応大学の学生に対するオンライン講義配信の支援業務を実施した。

■ その他の教育機関

熊本大学、大阪大学などで CHiBi-CHiLO の導入支援を実施した。

2.e ラーニングのためのコンテンツ・ソフトウェアの制作と流通を促進する事業

本事業では、主として教育機関が提供するオンライン教育のコンテンツ制作の受託業務を実施した。今期は、ビデオ教材を CHiBi-CHiLO として制作する支援を行った。

■ 大阪教育大学へのサービス

大阪教育大学が推進する、オープンエデュケーションのビデオ教材を CHiBi-CHiLO として提供した。

3.e ラーニングを活用した教育手法の調査研究事業

本事業では、主としてオンライン教育に関するシステムの研究開発を他機関から受注することで、実施した。主な実績は以下の通りである。

■ CHiBi-CHiLO

国立情報学研究所、大阪大学、熊本大学からの開発業務委託として、CHiBi-CHiLO に、ビデオ視聴解析機能追加、一括登録機能追加、LTI1.3 対応となった。これにより CHiBi-CHiLO は、LMS の外部ツールとして、一程度の機能を有したプロダクトとなったと考えられる。

■ CHiLO-Speech

国立情報学研究所の委託により, CHiBi-CHiLO と連携し, ナレーション原稿付きのパワーポイントから音声合成ビデオ教材を作成する Web アプリケーション, 「音声合成ビデオ教材作成システム」を開発し, CHiLO-Speech として, オープンソースソフトウェアで公開した。

4.連携, 助言または援助の活動事業

■ 大阪教育大学

大阪教育大学との産学協同事業推進のため, クロスアポイント契約により 2022 年 4 月から, 附置研究所主任研究員1名を特任教授として派遣した。大阪教育大学のエフォート率は2割とし, 任期は1年間とし, 継続している。

■ シンポジウム

ラーニングエコシステムとオンライン学習に関心を持つ個人の方, 企業, 学術機関, 政府機関, 非営利団体などのあらゆる組織の方を対象としたシンポジウムを以下の要領でおこなった。

テーマ:ラーニングエコシステムが創る未来の学び

日 程:2023 年 6 月 10 日[土] 13:30-18:00

会 場:帝塚山大学東生駒キャンパス+オンライン講演

主 催:NPO 法人 CCC-TIES

後 援:文部科学省、一般社団法人 大学 ICT 推進協議会、一般社団法人 教育システム情報学会、一般社団法人 日本 IMS 協会、大学 eラーニング協議会

■ 学会事務局

第 18 期については, 大学 eラーニング協議会 (UeLA) の事務局業務に加え, 同協議会のオンラインシンポジウムのサポート, 日本教育工学会のオンライン学会のサポートを実施した。

■ 論文等の投稿・発表

第 18 期は, 以下の論文誌等への投稿と発表を行った。

- ・ 堀真寿美. "ぺた語義: ラーニングエコシステムとオープンバッジの夢-教育のサイロ化に挑む教育のオープン化." 情報処理 64.10 (2023): 532-536。
- ・ 堀真寿美. "IT と教育." 情報処理学会論文誌デジタルプラクティス (TDP) 4.2 (2023): i-iii.
- ・ 堀真寿美. "講演 オープンバッジと学びの未来." View point: CAUA 会誌 23 (2023): 15-18.

- 石田秀樹, 井上雅裕, 堀真寿美, & 野村典文. (2023). パネルディスカッション 学びの多様化と質保証 View point: CAUA 会誌, 23(2023), 23-27.

以上